

グランプリ東北(CVG東北)

米粉を活用した新食品開発事業



事業構想大学院大学 高橋 りな
山形県立米沢工業 澤 雅恭
高等学校専攻科 戸屋 康介

人類が稲作をスタートした 日本を代表する主食である「お米」。現在は消費量が著しく減少傾向にあり、日本の食料自給率等に大きく影響を及ぼしている。その背景には社会情勢の変化から派生した食文化

代表の高橋さん

「お米」自給率向上に貢献

の多様化も一つの要因と考えられる。そのことは、日々の食事から摂取できていたはずの必要な栄養素を取りきれないなど、新たな課題を生み出しているのではないかと。そこで、日々の食事から必要な栄養素を摂取できる食品開発を行い、消費拡大のため新しい活用法や食事シーンを描き、最終的に「お米」の自給率向上に貢献する提案をしたい。このプランは「お米を食べる」ことから多くの人々の健康に寄与し、また、地域の食料と組み合わせることで農業の6次化を促し、地域活性化の一助を担えるものと考えている。

最優秀賞

東北6県の学生によるビジネスプランコンテスト「CVG東北」の今大会は、大学・高校専攻科7校から15件のエントリーがあり、予備審査をくぐり抜けた5組が最終審査に進出。審査会当日、各組の代表者が登壇し、7分間のプレゼンテーションと8分間の質疑応答に臨んだ。公的研究機関や産業団体を含め官民を代表する審査員8人が出席。質疑応答では制限時間ギリギリまで学生との間で突っ込んだやりとりが交わされた。審査委員からの鋭い指摘に素早く答える力も試された。また、今年から協賛・後援企業や産業界の代表者もオブザーバーとして列席。学生の真剣な姿に熱い視線を送った。最優秀賞には産業界代表の大学院大学・高橋りなさんら

最優秀賞に高橋さんら CVG全国大会に出場

「第19回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG東北)実行委員会」と刊工業新聞社、東北地区3産業人クラブは2023年12月19日、仙台市内で最終審査会を開催した。審査の結果、最優秀賞をはじめ5組の入賞者を決定。2月6日、東北3産業人クラブの新春講演会などと同時に表彰式で代表者に賞状と賞金、記念品が贈られる。



ごあいさつ

CVG東北実行委員会委員長 宮本 保彦

今回19回目を迎える皆さんのグループの最優秀賞を受賞をはじめ5組の入賞者を決定しました。受賞された皆さんには心よりお祝いを申し上げます。さて、猛威を振るっておりました新型コロナウイルス感染症も昨年5月のうやく収束に向かいつつあります。とはいえ、この4年の間に

新しい時代のリーダーを目指し活躍を

は大きく変わりました。リモットワークの普及に伴うデジタル変革(DX)や「働き方改革」の加速、そして「ChatGPT」に代表される生成AIの普及といった人工知能の飛躍的な進歩などもあり、我々の意識や社会通念もコロナ禍以前から大転換を迫られております。このような変革期に皆さんは、起業家精神・チャレンジ精神にあふれ、創造性豊かな感性で社会の課題解決に取り組む人材として本大会に挑戦して頂きました。皆さんには、新しい時代を牽引するリーダーとして活躍することを祈念してやみません。応募プランを拝見しますと、地域資源を活用するなど地元を活性化させようというアイデアが多く、非常に勇気づけられる思いです。この東北から日本を代表する存在として活躍されることを切に願っております。このたびの受賞、誠にありがとうございます。



審査委員に加え、今回からオブザーバーも参加し、発表する学生に熱い視線を送った



MediGO - NFTを用いたダイナミックプライシングで医療の待ち時間を適正に

「病院の待ち時間は何故、こんなに長いのだろう」。この素朴な疑問から「MediGO」は生まれた。私たちが病院に行くとき、受け付け、診療、処方箋の受診する。各ステップの間には必ず待ち時間があり、それをなくそうという努力を各自がしている。しかし、待ち時間はなかなか減らない。何故か

代表の佐々木さん

予約・診療を自動案内

「MediGO」はスマートコントラクトを有したブロックチェーンの診療予約システムである。患者が順番待ちの受け付けをしてから診療に至るまで、誰の手も目に触れることなく自動的に診療案内が進む。また、患者が到着時間を前後させたとしても、待ち時間に冗長性を持たせていることもポイントだ。我々は「MediGO」によって、医療人の行う医療行為の価値を最大化させていく。

特別賞・東北経済産業局長賞

弘前大学 佐々木 慎一朗
下倉 佑太
斎藤 遥斗

第19回CVG東北実行委員会 (敬称略)	
〈委員長〉 宮本 保彦 (東北経済連合会副会長・東経連ビジネスセンター会長)	鎌田 充志 (みやぎ工業会理事長)
〈委員〉 戸邊 千広 (東北経済産業局長)	梶原 功 (宮城産業人クラブ会長)
浅倉 俊一 (東北ニュービジネス協議会会長)	松村 英一 (山形産業人クラブ会長)
	百田 昭洋 (福島産業人クラブ会長)
	竹本 祐介 (日刊工業新聞社取締役東日本支社長)

東北・新潟発のスマート社会が、未来の可能性を広げていく。

私たち東北電力グループは、東北・新潟への想いを胸に2030年代のスマート社会の実現を目指し、エネルギーと先進のデジタル技術を融合した取り組みに挑戦してまいります。

- IT(情報技術)で家のエネルギーを最適にコントロール
- 新たな交通インフラ
- 首都圏と地方に拠点を二つ持つ
- 先端技術を活用した農業

SMART CITY

先進のデジタル技術によって、効率的な電力供給、スマートコミュニティの形成、再生可能エネルギーの拡大などが身近に。多彩なライフスタイルの実現や地域の課題解決を叶えます。

より、そう、こちらから。
東北電力グループ

第19回 キャンパスベンチャー

審査講評



19回目の開催となるCVG東北には、15件の意欲あふれる応募がありました。審査を経て選ばれた5件に対し、12月19日に仙台市内でプレゼンによる本審査が行われました。前向きかつ創意工夫がみられるものばかりで、興味深くま

問題解決への思い、挑戦する意志伝わる

審査委員からの鋭い質問に素早く回答する瞬発力も求められた

私たちは現在、岩手県で農商工連携に取り組んでいる。取り組む事業者向けのウェブサービス有の効率化、連携の全体像の共有が課題点として挙げられた。スマート農業をはじめとした生産面の効率化が広まる半面、情報共有の効率化に向けたサービスの普及はまだ進んでいないという現状があることを知

審査委員からの鋭い質問に素早く回答する瞬発力も求められた



東北福祉大学・関沢さんのグループは総勢4人の全員参加でプレゼンをこなした

あなたの選択で未来を変えよう！～「みんなでつくる」サイクルで環境に優しい行動を～



東北福祉大学 齋藤 春菜 鈴木 葵

顧客とともに作る物語と製品提供

農商工連携を効率化させるサービス「キャンリンク」



代表の佐藤さん

事業全体像の情報共有に一役

農商工連携の全体像の把握が可能になるというものである。今後、自分たちが農商工連携の当事者であることを生かし、現場でプロトタイプングを重ねながら開発していく予定である。

奨励賞



東北福祉大学 関沢 奏汰 佐藤 雅将 杉村 天都 横欠 碧海

応援グッズレンタルにスマートロッカー活用

国民全体で盛り上げていったことが、昨年の歴史的な快挙に大きく影響したと考える。そこで、私たちは応援グッズレンタルサービスで応援の質向上を目指す「すぐチア」を提案する。これはスマートロッカーを活用することで、効率的な応援グッズレンタルを目指すサービスである。

第19回CVG東北審査委員会 (敬称略)

〈委員長〉 蛸名 武雄 (産業技術総合研究所東北センター所長)

〈委員〉 小林 和昭 (東北経済産業局地域経済部長) 伊藤 正弘 (宮城県産業技術総合センター所長)

西山 英作 (東北経済連合会理事・東経連ビジネスセンター長) 青沼 廣利 (みやぎ工業会専務理事事務局長) 菅野 秀幸 (通研電気工業社長) 福田 大輔 (福田商会社長) 竹本 祐介 (日刊工業新聞社取締役東日本支社長)

頑張る学生を応援しています

CKD

Creating Solutions Together

CKD株式会社 本社：愛知県小牧市応時二丁目250番地 東北工場：宮城県黒川郡大衡村松の平二丁目18番

セラミックスで 創造と挑戦を楽しむ

NTK CERATEC

Niterra Group

お問い合わせはお気軽に。 〒981-3292 宮城県仙台市泉区明通3-24-1 TEL:022-378-9231 FAX:022-378-9236 電話受付時間:8:30~17:30

宮城から世界へ。未来を支える半導体テクノロジー。

TEL

東京エレクトロン宮城

半導体製造装置メーカー

宮城県黒川郡大衡町テクノビルズ1番 Tel. 022-346-3000 www.tel.co.jp 東京エレクトロン宮城 採用 検索